

北海道エンデューロ選手権シリーズ第4戦 ヒーローレーシング大会 レポート

2017年7月30日（日）

北海道エンデューロ選手権シリーズ第4戦ヒーローレーシング大会が、ルスツ BIG BEAR にて開催されました。



天気は晴れ。気温は27度前後と暑さはさほど厳しくは無かったものの、じんわりと汗が滲みでる。コースはフルドライにて、少し走ると砂ぼこりが舞い、1周9～10分のハイスピードなレースとなりました。が、けが人も無く無事終えることができました。

承認クラス

Bクラス5台。Cクラス7台。市販車クラス6台のエントリー。

ホールショットは#432立石選手。1周目は#332柴田選手がトップ通過するものの、最後尾スタートした#501菅原選手が市販車ながらも2周目で抜き返し。その後も#501菅原選手を#332柴田選手が追いかける展開でレースが終了しました。コンディションもよく。全車リタイアすることなくチェッカーを受けることができました。

Bクラス 1位#332柴田 慎弥選手 2位#331三好 恵三選手 3位#328横幕 厚選手





Cクラス 1位#429 大坂 司選手 2位#411 吉川 弘幸選手 3位#432 立石 裕樹選手



市販車クラス 1位#501 菅原 勇太郎選手 2位#502 石原 信選手 3位#506 荒木 直昭選手





市販車クラスは、副賞にお米(ゆめびりか)の贈呈があるのですが、1位の菅原選手から6位の立蔵選手のお子様へと「大きく育ててね」と贈呈され、2位の石原選手は、自走で持ち帰る事が出来ないという事で、5位の竹村選手へと贈呈されました。

公認クラス

IAクラス1台。IBクラス10台。Nクラス26台のエントリー。



台数が多いためIA/IBとNと時間差スタート。

IA/IBスタート。ホールショットは#8柴田選手が制したものの、1周目のチェックにはIA#36立蔵選手が通過。その後も立蔵選手がレースを引っ張る展開。市販車クラスとダブルエントリーにもかかわらず、公認クラス総合優勝を果たしました。

IBクラスは#4大友選手と#8柴田選手と#9堀選手とのトップ争い。順位も激しく入れ替わり、終盤#9堀選手がクラスのトップにくるものの、残り5分のところで#9柴田選手が抜き返し、わずか3秒差という大接戦を#8柴田選手が制し、今季4連勝となるチェッカーをうけました。#30五十嵐選手も2年ぶりとなるレースにもベテランの強さをみせIBクラス3位と健闘しておりました。

激戦Nクラス。ホールショットは#122島田選手。

#149前田選手が安定した走りで2位とも1ラップ差をつけクラス1位。今シーズンJECで道外のレースへ参戦もし好成績を収めている#134小山選手も2位と健闘。同じくJEC Wクラスで活躍中の#125福田選手も、レディースながらも男性陣を抑え8位と一桁入賞を果たしている。

IA クラス 1位 (総合1位) #36 立蔵 裕也選手



IB クラス 1位 #8 柴田 和広選手 2位 #9 堀 嘉尚選手 3位 #30 五十嵐 聖治選手
4位 #4 大友 秀樹選手 5位 #6 岩崎 真選手

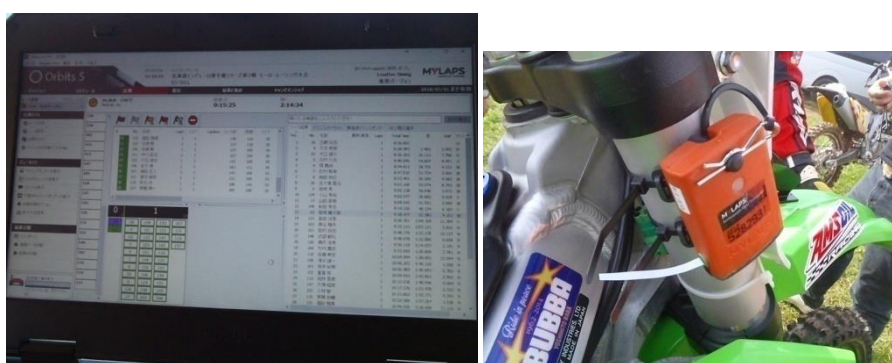


N クラス 1位 #149 前田 孝志選手 2位 #134 小山 孝尚選手 3位 #122 島田 信吾選手
4位 #152 重富 哲選手 5位 #150 橋爪 浩孝選手 6位 #148 式部 敏弘選手
7位 #158 清水 雄一選手 8位 #125 福田 雅美選手 9位 #105 小林 智選手
10位 #101 田村 拓也選手





今回、自動計測システム「MYLAPS」を導入しテスト運用。



今回の大会でもリザルトをライブ配信し、アプリをインストールののち、ピットエリアからでもスマートフォンでリザルトをチェックすることができました。

次回 8月 27 日の第 5 戦 夕張大会もこの「MYLAPS」による計測を予定しています。

選手、観客の皆様。暑い中、お疲れ様でした。